

滋賀医科大学附属病院における岡本医師の前立腺癌治療
継続にご支援を！

- 非常に高い根治率が得られる前立腺癌小線源治療 -

現在、ガンは国民の二人に一人がかかる病気になってきております。

2020年には前立腺がんが男性で一番多いガンになる見込みで、誰でもかかる病気であり、毎年およそ一万人が亡くなっています。

滋賀医科大学では独自の治療プログラムを開発した岡本医師によって、これまで1100名の患者を治療してきました。滋賀医科大学附属病院 前立腺癌小線源治療学講座の岡本医師の治療を受ければ、たとえ高リスクであっても96%の患者が完治しています。患者の過半数が県外からの受診です。

岡本医師の治療でなければ治らない多数の前立腺癌患者が、滋賀医科大学附属病院を頼って全国から受診しています。ところが突然に病院から2019年に「前立腺癌小線源治療学講座」を終了するという通達がなされました。

本当に岡本医師の小線源治療を国立滋賀医科大学からなくしてよいのでしょうか？前立腺がん患者の命綱である岡本医師の「前立腺癌小線源治療」の継続の署名をお願いします。

(提出先：滋賀医科大学 厚生労働省 文部科学省 滋賀県)



滋賀医科大学前立腺癌小線源治療委員会



<https://siga-kanjakai.svousengen.net/>

名前	住所

*番地不記載も可能です。個人情報以外の目的には使用しません。